



## 平成27年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成27年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 KNT - CTホールディングス株式会社

コード番号 9726 URL <http://www.kntcthd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 戸川 和良

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 伊藤 浩一

TEL 03-6891-6844

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	192,936	4.6	181		357		251	
26年12月期第2四半期	202,276	0.9	1,130		984		1,257	

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 578百万円 ( %) 26年12月期第2四半期 1,833百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年12月期第2四半期	0.93	
26年12月期第2四半期	4.66	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円銭
27年12月期第2四半期	133,388	23,260	17.4	85.63		
26年12月期	124,045	23,704	19.1	87.57		

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 23,179百万円 26年12月期 23,686百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年12月期					
27年12月期					
27年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年12月期の配当予想につきましては、未定としております。

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	436,000	0.6	4,800	42.1	5,000	22.0	3,000		11.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期2Q	270,743,135 株	26年12月期	270,530,635 株
-----------	---------------	---------	---------------

期末自己株式数

27年12月期2Q	34,709 株	26年12月期	27,875 株
-----------	----------	---------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期2Q	270,589,966 株	26年12月期2Q	269,800,727 株
-----------	---------------	-----------	---------------

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中であり、

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提条件その他の関連する事項については、2ページにあります「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会の資料の入手方法)

四半期決算説明会につきましては、平成27年8月7日(金)にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、個人消費や設備投資に持ち直しの兆しがみられ、企業収益も総じて改善傾向にあるなど、緩やかな回復基調で推移しました。

旅行業界におきましては、国内旅行は北陸新幹線の開業により盛況な北陸地方やU S J効果で引き続き好調な関西地方が牽引役となり、堅調に推移しました。一方、海外旅行は円安基調の影響に加え、中近東やヨーロッパなどの政情不安等により、依然として厳しい状況が続きました。

このような情勢のもと、当社グループは持株会社体制に移行して2年が経過し、「近畿日本ツーリスト」と「クラブツーリズム」両者の得意分野を掛け合わせた「統合シナジー」の最大化を目指すとともに、各事業にわたり収益力の向上に懸命の努力を傾けました。

また、本年は近畿日本ツーリスト株式会社が創立して60周年の節目の年であり、60周年にちなんだ商品の販売にも積極的に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は1,929億36百万円（前年同期2,022億76百万円）、営業利益は1億81百万円（前年同期 営業損失11億30百万円）、経常利益は3億57百万円（前年同期 経常損失9億84百万円）、四半期純損失は2億51百万円（前年同期 四半期純損失12億57百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (財政状態の変動状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、主に預け金、受取手形及び営業未収金と団体前払金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ7.5%増加し、1,333億88百万円（前連結会計年度末は1,240億45百万円）となり、負債合計は、主に預り金、未精算旅行券と団体前受金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ9.8%増加し、1,101億28百万円（前連結会計年度末は1,003億40百万円）となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べ1.9%減少し、232億60百万円（前連結会計年度末は237億4百万円）となりました。

この結果、自己資本比率は17.4%で前連結会計年度末から1.7%減少しました。

#### (連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比較して64億49百万円増加し641億40百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は52億92百万円の増加（前年同期は26億99百万円の増加）となりました。これは主に売上債権の増加による影響で37億37百万円減少したものの、仕入債務の増加による影響で26億31百万円、預り金の増加による影響で44億58百万円、団体前受金の増加による影響で33億83百万円がそれぞれ増加したためであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は10億50百万円の増加（前年同期は8億51百万円の減少）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入で12億16百万円が増加したためであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は24百万円の増加（前年同期は28百万円の増加）となりました。これは主に株式の発行による収入で27百万円が増加したためであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月8日に公表しました業績予想を平成27年7月23日公表のとおり修正いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間および通期の当該予想に関する詳細につきましては、平成27年7月23日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,117	31,419
預け金	31,160	34,660
受取手形及び営業未収金	18,397	21,624
商品	19	17
団体前払金	14,129	15,865
繰延税金資産	1,728	2,356
その他	8,660	7,940
貸倒引当金	△31	△38
流動資産合計	103,182	113,845
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,009	1,108
土地	1,224	1,234
その他（純額）	629	603
有形固定資産合計	2,863	2,946
無形固定資産		
その他	4,980	4,001
無形固定資産合計	4,980	4,001
投資その他の資産		
投資有価証券	4,556	5,486
繰延税金資産	1,631	903
その他	7,271	6,644
貸倒引当金	△440	△438
投資その他の資産合計	13,018	12,595
固定資産合計	20,862	19,543
資産合計	124,045	133,388

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	10,285	10,385
未払金	4,865	5,574
未払法人税等	495	341
預り金	22,108	26,582
未精算旅行券	30,717	33,329
団体前受金	22,921	26,336
賞与引当金	764	627
その他	1,980	1,502
流動負債合計	94,139	104,681
固定負債		
旅行券等引換引当金	1,208	1,055
退職給付に係る負債	2,012	1,209
その他	2,980	3,181
固定負債合計	6,201	5,447
負債合計	100,340	110,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,862	7,876
新株式申込証拠金	-	1
資本剰余金	7,025	7,039
利益剰余金	5,149	4,898
自己株式	△4	△5
株主資本合計	20,033	19,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,197	1,893
繰延ヘッジ損益	1,651	416
為替換算調整勘定	529	802
退職給付に係る調整累計額	274	258
その他の包括利益累計額合計	3,653	3,370
少数株主持分	17	80
純資産合計	23,704	23,260
負債純資産合計	124,045	133,388

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	202,276	192,936
売上原価	167,632	157,961
売上総利益	34,643	34,974
販売費及び一般管理費	35,774	34,793
営業利益又は営業損失(△)	△1,130	181
営業外収益		
受取利息	153	137
受取配当金	25	26
助成金収入	1	-
持分法による投資利益	-	13
その他	28	50
営業外収益合計	208	227
営業外費用		
支払利息	37	33
為替差損	14	10
持分法による投資損失	7	-
その他	3	8
営業外費用合計	63	52
経常利益又は経常損失(△)	△984	357
特別利益		
移転補償金	88	-
投資有価証券売却益	24	-
段階取得に係る差益	-	28
その他	0	0
特別利益合計	112	28
特別損失		
厚生年金基金脱退拠出金	106	-
固定資産除却損	3	17
その他	0	-
特別損失合計	111	17
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△983	367
法人税、住民税及び事業税	235	297
法人税等調整額	39	323
法人税等合計	275	621
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,258	△253
少数株主損失(△)	△0	△1
四半期純損失(△)	△1,257	△251



## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1,258	△253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	121	696
繰延ヘッジ損益	△925	△1,235
為替換算調整勘定	264	256
退職給付に係る調整額	-	△16
持分法適用会社に対する持分相当額	△35	△26
その他の包括利益合計	△575	△324
四半期包括利益	△1,833	△578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,833	△577
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△983	367
減価償却費	1,359	1,390
のれん償却額	362	22
貸倒引当金の増減額(△は減少)	18	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△432	△143
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△642	-
旅行券等引換引当金の増減額(△は減少)	△201	△152
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△808
受取利息及び受取配当金	△179	△163
支払利息	37	33
売上債権の増減額(△は増加)	△4,378	△3,737
仕入債務の増減額(△は減少)	2,234	2,631
未払金の増減額(△は減少)	580	666
預り金の増減額(△は減少)	4,044	4,458
団体前受金の増減額(△は減少)	2,521	3,383
団体前払金の増減額(△は増加)	△631	△1,722
その他	△630	△617
小計	3,078	5,613
利息及び配当金の受取額	190	180
利息の支払額	△37	△33
法人税等の支払額	△531	△467
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,699	5,292
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△360	△483
定期預金の払戻による収入	762	1,216
長期預金の払戻による収入	-	600
投資有価証券の取得による支出	-	△45
固定資産の取得による支出	△1,128	△476
長期貸付けによる支出	△19	△16
長期貸付金の回収による収入	30	22
供託金の支払による支出	△46	△41
供託金の返還による収入	38	49
差入保証金の差入による支出	△473	△135
差入保証金の回収による収入	145	245
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	150
その他	200	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△851	1,050
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	41	27
新株式申込証拠金の払込による収入	-	1
その他	△13	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	28	24
現金及び現金同等物に係る換算差額	85	81
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,962	6,449
現金及び現金同等物の期首残高	54,698	57,690
現金及び現金同等物の四半期末残高	56,660	64,140

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	個人旅行 事業	団体旅行 事業	その他	合計	調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	117,304	50,555	34,350	202,211	64	202,276
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	44	677	5,542	6,264	△6,264	—
計	117,349	51,233	39,892	208,475	△6,199	202,276
セグメント利益又は損失(△)	△1,487	632	△195	△1,050	△80	△1,130

(注) 1. 「その他」の区分は、海外航空券卸販売、北海道・東北・中国四国・九州地区の各種旅行商品の販売、海外におけるサービスの提供と各種旅行商品の販売、人材派遣業、物品販売業、損害保険業および旅行関連サービス業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△80百万円には、セグメント間取引消去2百万円、のれん償却額△362百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益・全社費用の純額280百万円が含まれております。全社収益は主に報告セグメントに帰属しない売上高であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	個人旅行 事業	団体旅行 事業	その他	合計	調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	111,116	47,413	34,321	192,850	85	192,936
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	41	729	4,863	5,633	△5,633	—
計	111,158	48,142	39,184	198,484	△5,548	192,936
セグメント利益又は損失（△）	△128	233	△168	△62	244	181

（注） 1. 「その他」の区分は、海外航空券卸販売、北海道・東北・中国四国・九州地区の各種旅行商品の販売、海外におけるサービスの提供と各種旅行商品の販売、人材派遣業、物品販売業、損害保険業および旅行関連サービス業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額244百万円には、セグメント間取引消去1百万円、のれん償却額△22百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益・全社費用の純額265百万円が含まれております。全社収益は主に報告セグメントに帰属しない売上高であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。